

# 「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2013年 8月 3日(土) 9時 00分～12時 00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員/8名、事務局/1名 計9名(午後:活動なし)

## ● 午前

今日は、朝9時にエコウイングあかしの会員と事務局、あわせて9名が活動に集まりました。暑さによる熱中症の予防のため、午前中だけの活動としました。

活動前のミーティングでは、川島さんから最近のエコウイングあかしの活動について報告があったあと、最近新聞やテレビなどでも報道されている「マダニ」についての注意点を確認しました。

その後、参加者は2班に別れて作業に取り掛かりました。一方は、遊歩道の三期工事を続けました。もう一方は、公園入り口近くで、ゴマダラチョウの幼虫の成育を助けるために、エノキの落ち葉を保持するために、竹の柵を作りました。猛暑の中での作業のため、水分の補給に気をつけ、休憩を多くして熱中症の予防に努めました。午前中で作業を終え、冷房の効いた会議室に戻って一息ついた後、解散しました。

朝のミーティング風景



エノキの落ち葉保持の竹柵の設置作業



でき上がった竹柵



遊歩道造りの三期工事の様子



## ● 次回 : 9月 7日(土) 定例活動。

次回も暑さ対策のため、朝9時から12時まで午前中だけの活動の予定です。ご注意ください。



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

猛暑の中で、里山の木々も葉を茂らせていて、野鳥の観察は難しい時期になりました。その中で、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイを観察しました。活動後には、北浦池でアオサギの姿も見かけました。昆虫では、トンボやチョウ、セミの仲間やカマキリなどが色々と姿を見せてくれました。水辺には、アメンボもたくさんいました。サルスベリの花には、蜜を求めてクマバチが来ていました。爬虫類、両生類では、ニホントカゲとニホンカナヘビが姿を見せました。そのほかに、落ち葉の中からナメクジも這い出してきました。植物では、ヒルガオがピンクの花を咲かせ、ヒヨドリバナも咲き始めていました。

北浦池のアオサギ



シオカラトンボのペア



ウチワヤンマ



アオモンイトトンボ



モンシロチョウ



ヤマトシジミ



モンキアゲハ



アブラゼミ



ミンミンゼミ





# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ニイニゼミ(左)とクマゼミ(右)



セミの抜け殻(その1)



セミの抜け殻(その2)



アメンボ



カマキリ



サルスベリの花に来たクマバチ



ニホントカゲ



ニホンカナヘビ



ナメクジ



ヒルガオの花



咲き始めていたヒヨドリバナ

